2026 年 11 月 18 日現在

令和 9(2027)年度 国際大会選手選考方法

◆世界選手権（2027/ハンガリー・ブダペスト 7/10-7/18）

［選考方法］

1、選考競技会を第 103 回日本選手権（TAC・4/8-11）とする。

2、選考は、世界選手権(2027/ブダペスト)の競技規則に基づいて日本水泳連盟（本連盟）選手選考委員会が選考にあたり、編成方針（本連盟が決定する）に沿って総合的に判断して選考する。
本連盟が定める「日本代表選手団行動規範」を遵守できる者に限り選考する。

3、個人種目は、決勝（タイム決勝を含む）においてＬＡスタンダード(Ａ)（50m 背泳ぎ、50m 平泳ぎ、50m バタフライは別紙「2027 年度国際大会派遣標準記録」に定める派遣Ⅱ以上）を突破した上位 2 名を選考する。
選考対象となる順位に複数名が同記録で並び、選考する選手を確定できない場合はスイムオフにより決定する。
スイムオフの実施方法は、競技委員会がその都度決定する。

4、リレー種目は以下に基づき選考する。

①4×100m フリーリレーは、選考競技会における 100m 自由形決勝の上位 4 名の記録の合計が、派遣Ⅲ以内であった場合に当該 4 名をリレー代表選手として選考する。

②4×200m フリーリレーは、選考競技会における 200m 自由形決勝の上位 4 名の記録の合計が、派遣Ⅲ以内であった場合に当該 4 名をリレー代表選手として選考する。

③メドレーリレーは、選考競技会における男女の 100m 背泳ぎ、100m 平泳ぎ、100m バタフライ、100m 自由形の各決勝優勝者の記録の合計が、派遣Ⅲ以内であった場合当該 4 名をリレー代表選手として選考する。
ただし、同一選手が複数種目で優勝した場合は、各泳法に異なる選手を配置することを前提とし、当該種目の次点者を含めた組み合わせのうち、合計記録が最も速くなる組み合わせを採用する。

④ミックスメドレーリレーは、選考競技会における男女の 100m 背泳ぎ、100m 平泳ぎ、100m バタフライ、100m 自由形の各決勝優勝者の記録を基に､男女各 2 名で構成する組み合わせのうち､合計記録が最も速くなる組み合わせを算出し、その記録が派遣Ⅱ以内であった場合に当該 4 名をリレー代表選手として選考する。

⑤上記①、②、③、④において選考対象となる順位に複数名が同記録で並び選考する選手を確定できない場合は、スイムオフにより決定する。なお、その場合決勝の記録を採用し当該リレー種目の合計記録とする。

⑦上記①、②、③、④において、ロサンゼルスオリンピックのリレー代表権獲得に向け、例えば当該種目の上位 3 位までの選手に加え他の個人種目で選考された選手を起用することなども勘案し、総合的に判断してリレー代表選手を選考する場合がある。

5､個人種目において代表選手が選考決定後に疾病･怪我等のやむを得ない事情により欠場する場合､ＬＡスタンダード(Ａ)(50m 背泳ぎ、50m 平泳ぎ、50m バタフライは派遣Ⅱ以上）を突破した次点の選手を繰り上げて本連盟選手選考委員会の決定により出場予定選手として追加選考をする場合がある（リレー種目においても同様に出場予定種目の次点の選手を繰り上げて追加選考をする場合がある)。

6、選考会開催前の申し出による辞退は認めない。

◆第 33 回ワールドユニバーシティゲームズ（2027/韓国・忠清道 8/2-8/8）

［選考方法］

1、選考競技会を第 103 回日本選手権（TAC・4/8-11）とする。

2、選考は、第 33 回ワールドユニバーシティゲームズ競技規則に基づいて本連盟選手選考委員会が選考にあたり、編成方針（日本オリンピック委員会(JOC)が決定する）に沿って総合的に判断して選考する。
JOC 及び本連盟が定める「日本代表選手団行動規範」を遵守できる者に限り選考する。

3、参加有資格者は以下のとおりとする。
対象年齢は、2027 年 12 月 31 日時点で 18 歳以上 28 歳以下の者（1999 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日生まれ）で日本国籍を有している者。
また、以下 1）～3）のいずれかを満たしている者で出場回数は通算 2 回までを限度とする。

1）大学在学中（入学後 4 年以内に限る）で在学証明書（英文）を取得できる者。

2）入学 5 年以上経過した大学生で選考大会においてインターナショナル C 以上の記録を突破している者。

3）大会開催年の前年(2026 年 1 月 1 日)以降に大学の学位又は卒業証書を取得した者(インターナショナル C 以上)。

４、編成人数は、JOC 内示人数とする。
５、リレーは別途考慮し選考する。
６、世界選手権（2027/ブダペスト）とは別に選考する。
ただし、同大会にフリーリレーのみで選考された者は選考対象とする。
７、個人種目において代表選手が選考決定後に疾病・怪我等のやむを得ない事情により欠場する場合、参加有資格者における次点の選手を繰り上げて本連盟選手選考委員会の決定により出場予定選手として追加選考をする場合がある（リレー種目においても同様に出場予定種目の次点の選手を繰り上げて追加選考をする場合がある）。
８、選考会開催前の申し出による辞退は認めない。

◆世界ジュニア選手権（2027/開催地・開催期間未定）

［選考方法］
１、選考競技会を第 103 回日本選手権（TAC・4/8-11）とする。
２、選考は、世界ジュニア選手権(2027)の競技規則に基づいて本連盟選手選考委員会が選考にあたり、
編成方針（本連盟が決定する）に沿って総合的に判断して選考する。
本連盟が定める「日本代表選手団行動規範」を遵守できる者に限り選考する。
３、参加資格はワールドアクアティクスが定める当該大会の参加資格に従う。
ただし、本連盟の選考対象者は、2009 年 4 月 2 日から 2013 年 12 月 31 日生まれの者（高校生以下）とする。
※その他の詳細はワールドアクアティクスからの正式発表後に追記する。

◆アジア選手権（2027/開催地・開催期間未定）

※選考方法はアジアアクアティクスからの正式発表後に追記する。

◆ワールドカップ(2027/ベルリン、パリ、ロンドン　10/15-10/31)

［派遣方法］
１、令和 9(2027)年度上期に 50m 背泳ぎ、50m 平泳ぎ、50m バタフライで派遣Ⅱ以上を突破した者を中心に
派遣する予定。
※その他の詳細はワールドアクアティクスからの正式発表後に追記する。